

## 24年度業績見通し、コスト動向、金利の変化見通しと業績への影響 についてのアンケート調査結果

### (今回のアンケート調査の目的、狙い)

(株)ちばぎん総合研究所 (ひまわりベンチャー育成基金<調査研究部門：千葉経済センター>から調査を受託) では、県内企業に対し、「24年度業績見通し」、「コスト動向」、「金利の変化見通しと業績への影響」について、以下の要領でアンケート調査を実施した。

### 業種別・本社所在地別・規模別回答企業数

(単位：社)

	合計	本社所在地		企業規模	
		県内	県外	大企業	中小企業
<b>全産業</b>	<b>189</b>	<b>169</b>	<b>20</b>	<b>68</b>	<b>121</b>
<b>製造業</b>	<b>99</b>	<b>86</b>	<b>13</b>	<b>20</b>	<b>79</b>
食料品	24	19	5	9	15
石油・化学	8	3	5	4	4
プラスチック	8	7	1	1	7
窯業・土石	9	9	0	1	8
鉄鋼・非鉄金属	7	7	0	0	7
金属製品	10	8	2	1	9
一般・精密機械	7	7	0	2	5
電気機械	9	9	0	1	8
輸送用機械	9	9	0	1	8
その他製造	8	8	0	0	8
<b>非製造業</b>	<b>90</b>	<b>83</b>	<b>7</b>	<b>48</b>	<b>42</b>
建設	11	10	1	4	7
運輸・倉庫	9	9	0	2	7
卸売	15	13	2	5	10
小売	16	15	1	11	5
ホテル・旅館	9	8	1	5	4
サービス	30	28	2	21	9

### 調 査 要 領

1. 対象企業… 千葉県内に本社または事業所を有する企業
2. 方 法… 郵送によるアンケート方式
3. 実施期間… 配付：2024年 9月 2日  
回収：2024年10月10日
4. 回答状況… 調査対象企業 395社  
内有効回答数 189社  
有効回答率 47.8%

(注) 調査票の回収数は189だが、設問ごとに回答数が異なるため、各問での有効回答数(母数:n)は異なる。

注) 大企業、中小企業の区分は下記による。

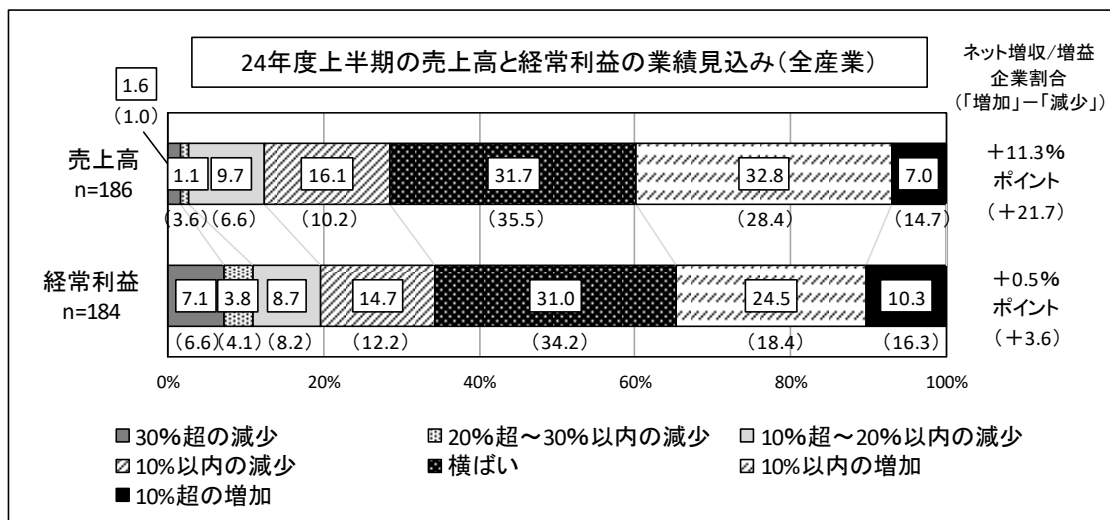
大企業…資本金1億円以上。ただし、卸売業は5,000万円以上、小売業、ホテル・旅館業、サービス業は3,000万円以上とする。

中小企業…資本金1億円未満。ただし、卸売業は5,000万円未満、小売業、ホテル・旅館業、サービス業は3,000万円未満とする。

## 1. 24年度上半期決算実績見込みと通期見通し

(1) 貴社の24年度上半期売上高および経常利益（対23年度上半期比）の見込みについてお聞かせください。

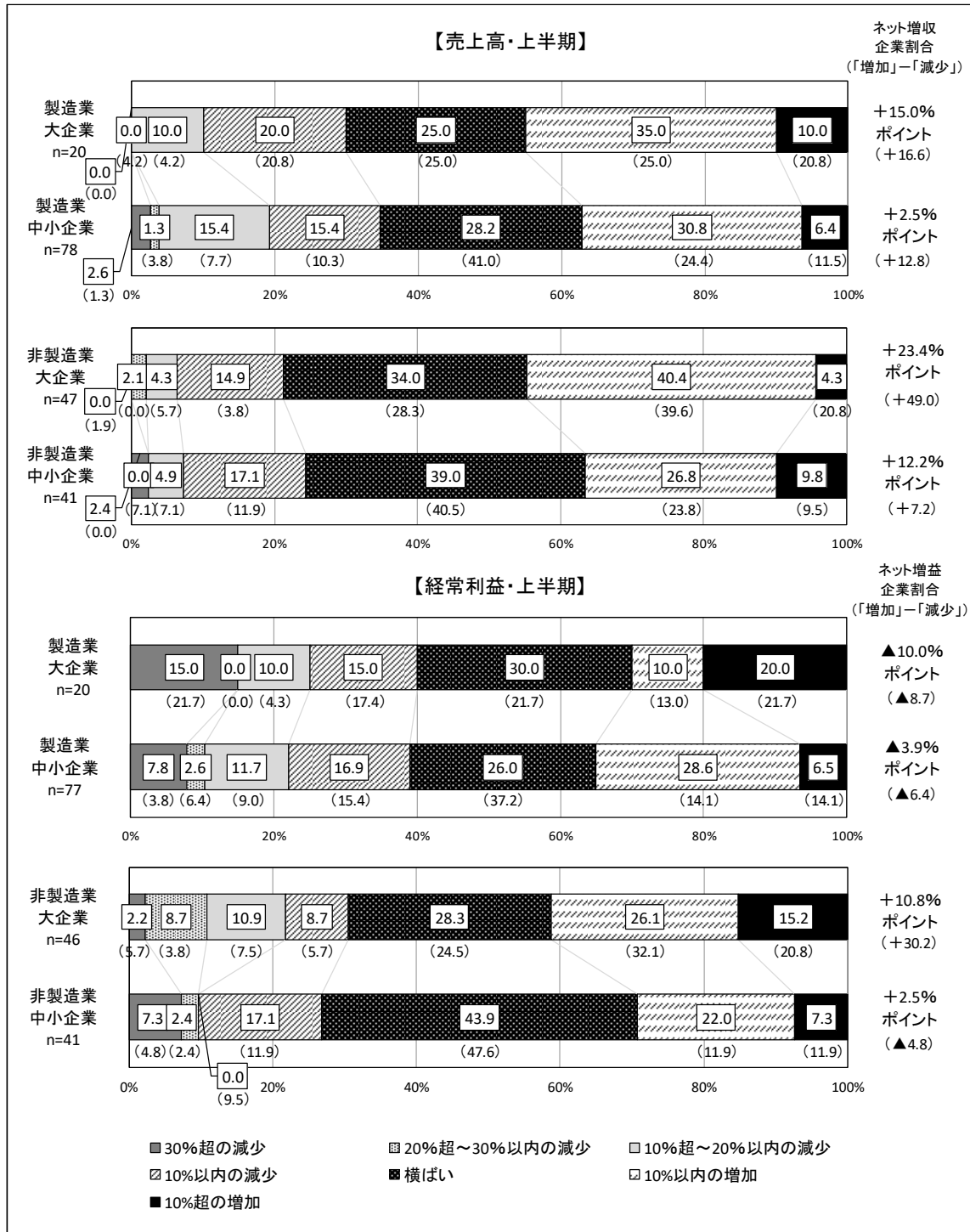
24年度上半期の業績は、売上高、経常利益ともに増収（増益）先が減収（減益）先を上回り、ネット増収企業割合（増収企業割合－減収企業割合）は+11.3%ポイント、ネット増益企業割合（増益企業割合－減益企業割合）は+0.5%ポイントとなった。



( ) 内は23年9月調査実績、単位：%、%ポイント

	調査期間	回答数	期間中の日経平均 終値平均	期間中の為替相場 (ドル円)の平均
今回	24年9月2日～10月10日	189	37,756.25円	144.35円/ドル
23年9月調査	23年9月1日～10月10日	199	32,379.00円	148.01円/ドル

製造・非製造業別、規模別にみると、売上高は、すべてのセグメントで増収企業が減収企業を上回った。経常利益は、非製造業において、大企業、中小企業ともに増益企業が減益企業を上回った一方、製造業では、いずれも減益企業が増益企業を上回った。

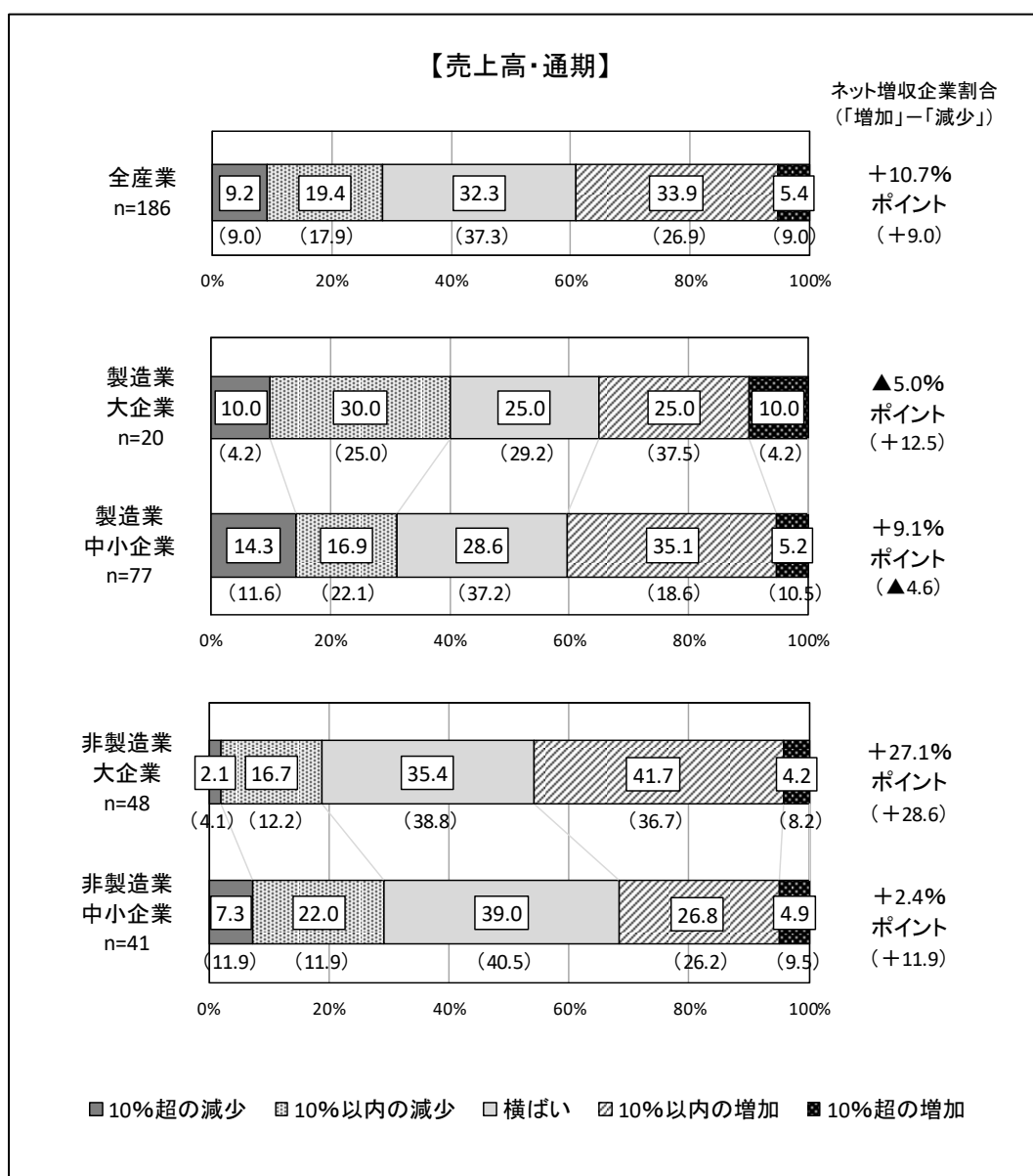


( ) 内は 23 年 9 月 調査実績、単位：%、%ポイント

(2) 貴社の24年度通期売上高および経常利益(対23年度通期比)の見込みについてお聞かせください。

通期の業績見込みをみると、売上高(全産業)は、ネット増収企業割合が+10.7%ポイントとなり、24年6月時点の見通し(+9.0%ポイント)から、やや上振れた。

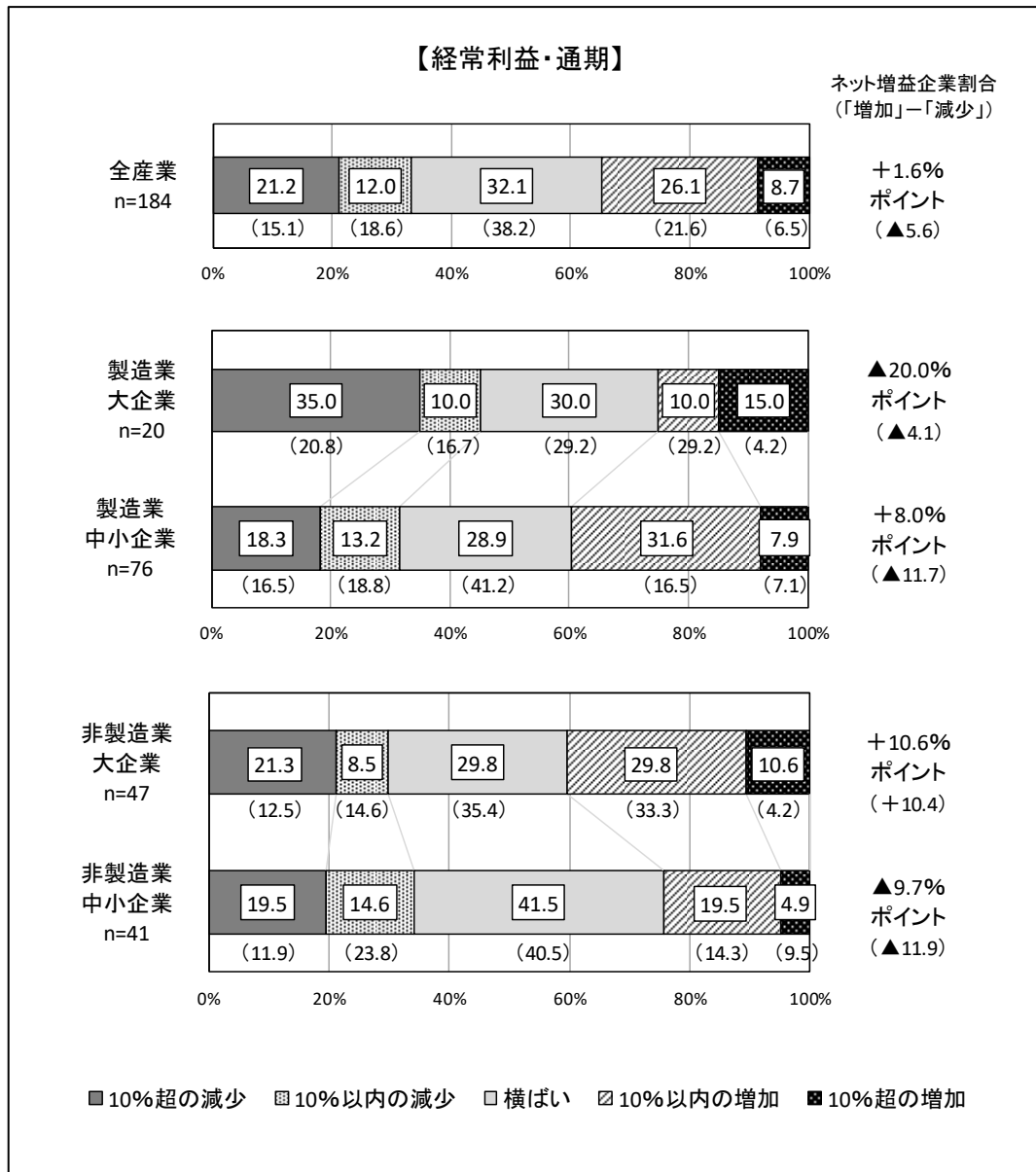
製造・非製造業別、規模別にみると、非製造業の大企業、中小企業、製造業の中小企業は、増収企業が減収企業を上回ったが、製造業の大企業は、減収企業が増収企業を上回った。24年6月時点の見通しと比べると、製造業の中小企業が上振れた一方、それ以外は下振れた。



( ) 内は24年6月時点見通し、単位：%、%ポイント

経常利益（全産業）は、ネット増益企業割合が+1.6%ポイントとなり、売上高と同様に24年6月時点の見通し（▲5.6%ポイント）から上振れた。

製造・非製造業別、規模別にみると、製造業中小企業、非製造業大企業では増益企業が減益企業を上回ったが、製造業大企業、非製造業中小企業では、減益企業が増益企業を上回った。24年6月時点の見通しと比べると、製造業大企業が下振れた一方、製造業中小企業が上振れた。



（ ）内は24年6月時点見通し、単位：%、%ポイント

経常利益の見込みについて業種別にみると、通期増益を見込む企業の割合が高い業種は、製造業で「窯業・土石」(66.6%)、非製造業で「ホテル・旅館」(44.5%)となっている。

一方、通期減益を見込む企業の割合が高い業種は、製造業で「金属製品」(▲50.0%)、非製造業で「建設」(▲18.2)となっている。

### 【セグメント別】

経常利益が増加/減少した(増加/減少を見込む)企業の比率

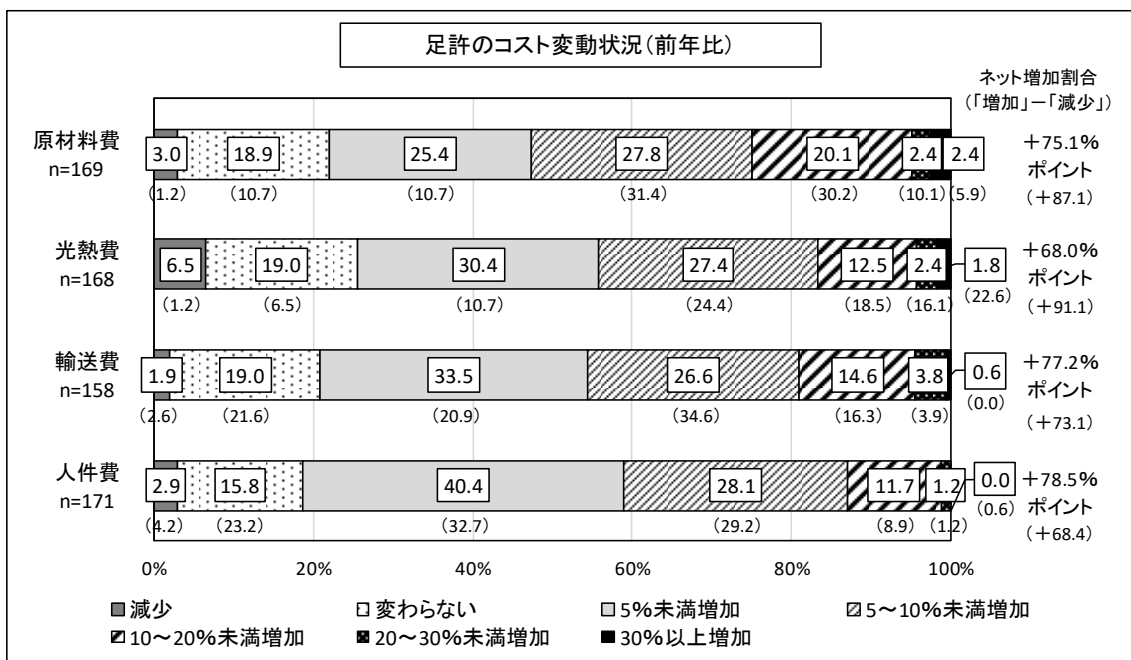
(単位:%、%ポイント)

		24年度上半期業績見込み			24年度通期業績見込み		
		増加	減少	ネット増益 企業割合	増加	減少	ネット増益 企業割合
全産業		34.8	34.3	0.5	34.8	33.2	1.6
規模別	大企業	37.9	33.4	4.5	35.8	34.4	1.4
	中小企業	33.1	34.6	▲1.5	34.2	32.5	1.7
業種別	製造業	34.0	39.2	▲5.2	36.5	34.3	2.2
	食料品	17.3	39.0	▲21.7	21.7	26.0	▲4.3
	石油・化学	50.0	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0
	プラスチック	37.5	25.0	12.5	37.5	37.5	0.0
	窯業・土石	88.9	11.1	77.8	77.7	11.1	66.6
	鉄鋼・非鉄金属	57.2	42.9	14.3	42.9	42.9	0.0
	金属製品	0.0	50.0	▲50.0	0.0	50.0	▲50.0
	一般・精密機械	28.6	42.9	▲14.3	28.6	57.2	▲28.6
	電気機械	33.3	55.5	▲22.2	50.0	37.5	12.5
	輸送用機械	22.2	44.4	▲22.2	33.3	33.3	0.0
	その他製造	42.9	57.2	▲14.3	57.2	42.9	14.3
	非製造業	35.6	28.6	7.0	33.0	31.9	1.1
	建設	18.2	18.2	0.0	18.2	36.4	▲18.2
	運輸・倉庫	55.5	11.1	44.4	50.0	25.0	25.0
	卸売	20.0	33.3	▲13.3	26.7	33.4	▲6.7
小売	28.6	57.2	▲28.6	33.4	46.6	▲13.2	
ホテル・旅館	77.8	22.2	55.6	66.7	22.2	44.5	
サービス	34.5	24.0	10.5	26.7	26.7	0.0	

## 2. コスト動向

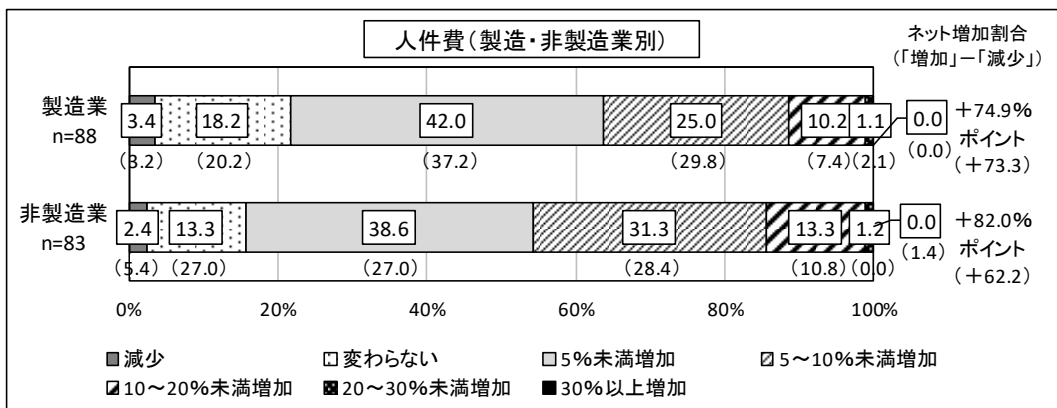
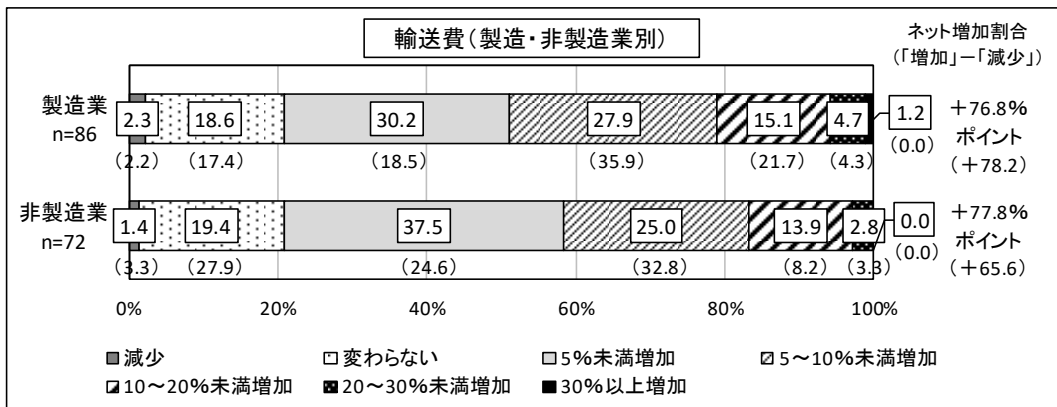
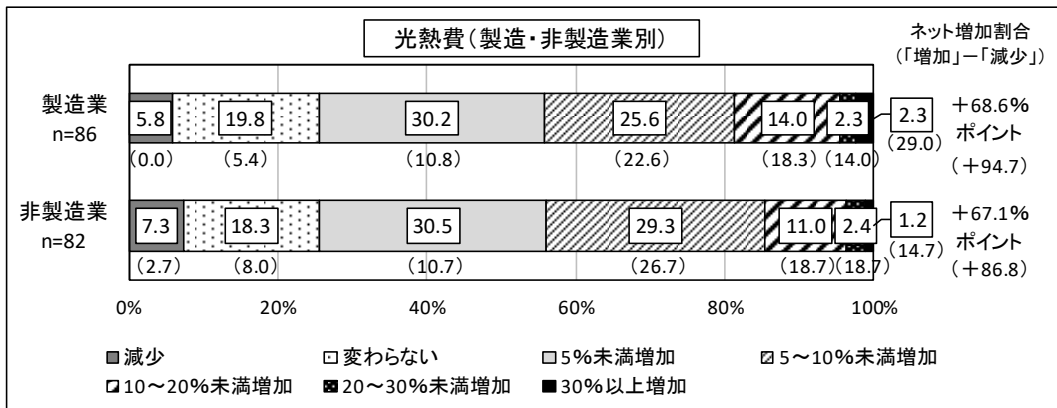
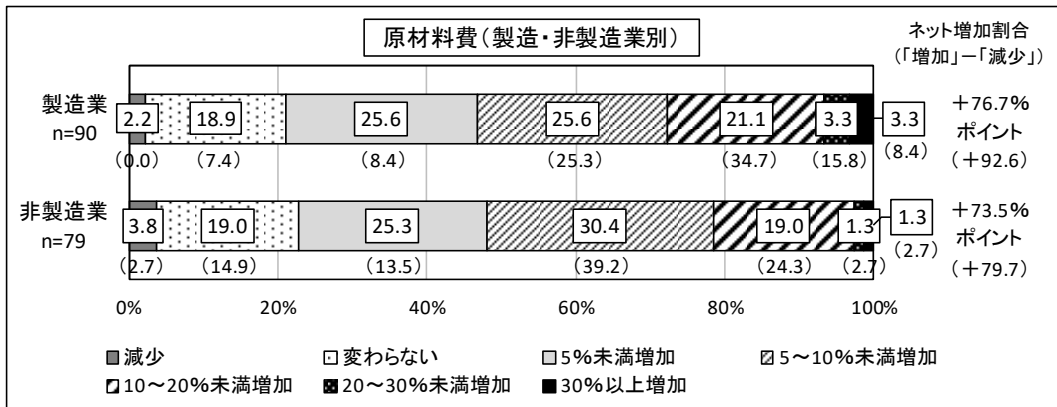
(1) 1年前と比べた足許のコストの変動状況についてご回答ください。

1年前と比べたコストの変動状況は、「増加」から「減少」を引いたネット増加割合が、人件費(+78.5%ポイント)、輸送費(+77.2%ポイント)、原材料費(+75.1%ポイント)、光熱費(+68.0%ポイント)の順となった。23年6月の調査から比べると、人件費、輸送費のネット増加割合は上昇し、原材料費、光熱費は低下した。



( ) 内は 23 年 4 ~ 6 月 調査 実績、 単位 : %、 %ポイント。

製造・非製造業別にみると、ネット増加割合は、原材料費、光熱費において製造業が非製造業を上回り、輸送費、人件費では、非製造業が製造業を上回った。

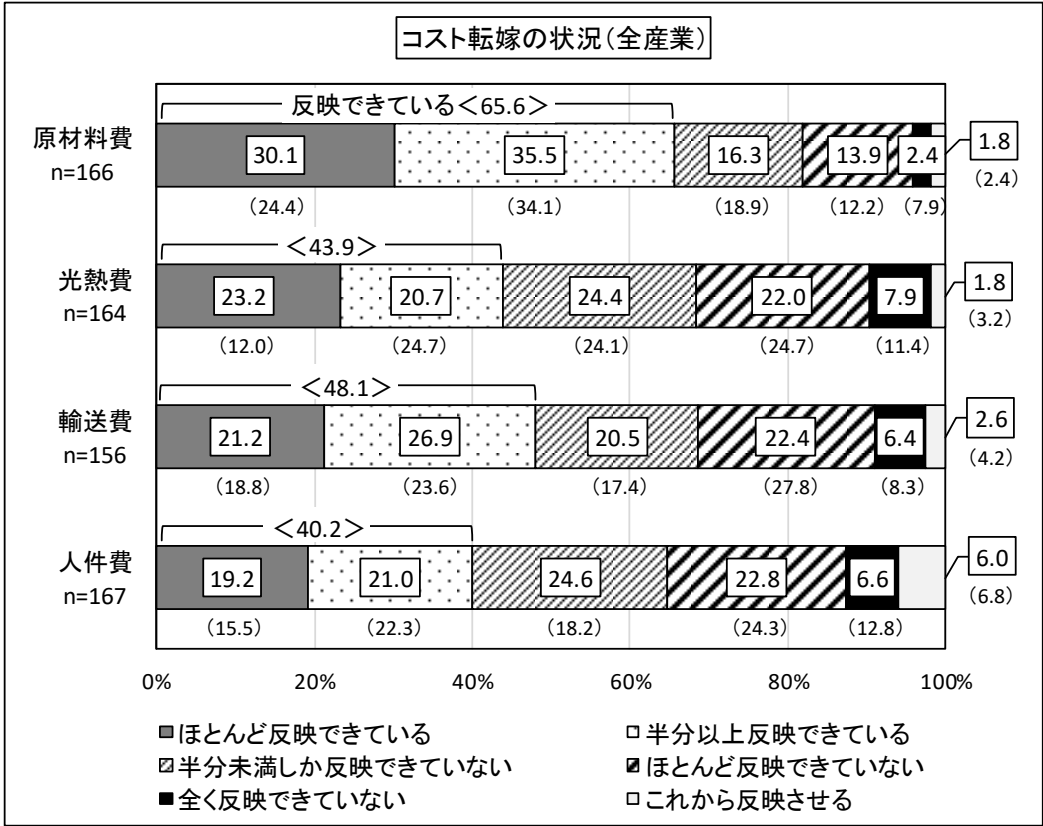


( ) 内は 23 年 4 ~ 6 月 調査実績、単位：%、%ポイント。



(2) コスト上昇分の価格転嫁状況についてお聞かせ下さい。

コスト転嫁の状況を費目別にみると、「反映できている」（「ほとんど反映できている」＋「半分以上反映できている」とする先は原材料費（65.6％）が最も多く、輸送費（48.1％）、光熱費（43.9％）、人件費（40.2％）と続いた。23年6月時点と比べると、「反映できている」割合は、いずれの費目でも上昇している。



費目別の転嫁状況を規模別にみると、「反映できている」（同）とする先の割合は、原材料費、光熱費については大企業が中小企業を上回ったが、輸送費、人件費については中小企業が大企業を上回った。

製造業・非製造業別にみると、原材料費以外の費目では、製造業が非製造業をはっきりと上回った。

【セグメント別】

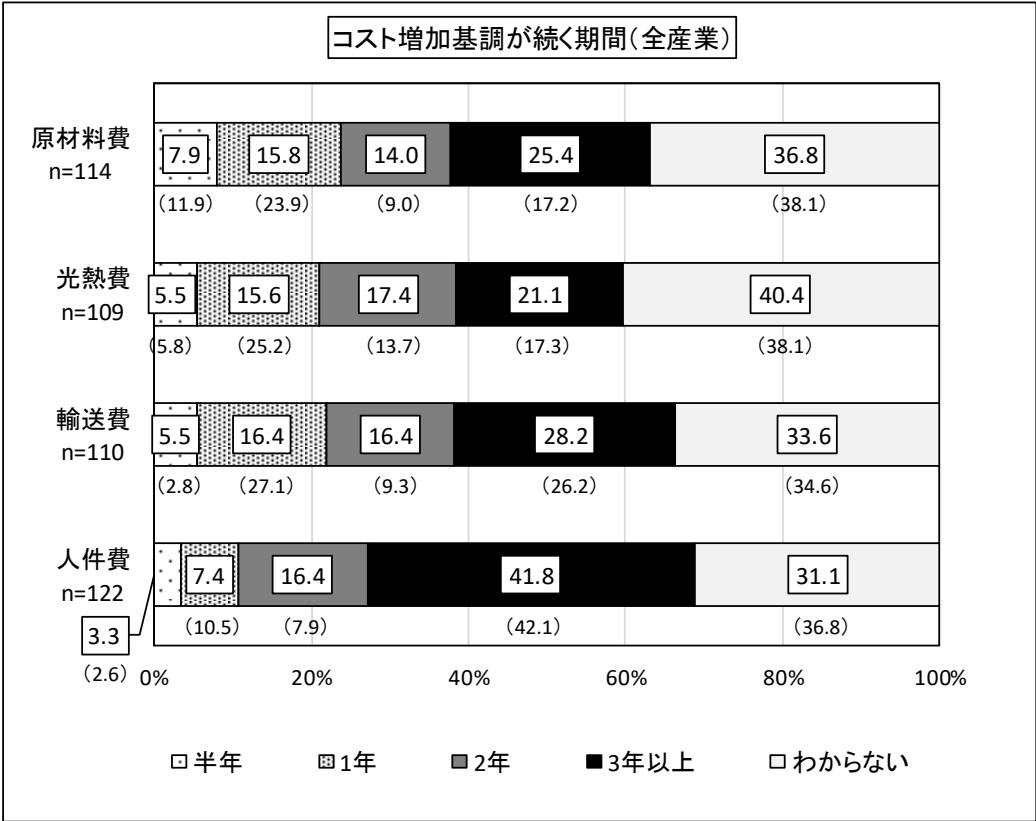
コスト転嫁の状況

(単位:%)

		反映できている	ほとんど反映できている	半分以上反映できている	半分未満しか反映できていない	ほとんど反映できていない	全く反映できていない	これから反映させる
原材料費	全産業	65.6	30.1	35.5	16.3	13.9	2.4	1.8
	大企業	66.1	29.2	36.9	13.8	16.9	1.5	1.5
	中小企業	65.4	30.7	34.7	17.8	11.9	3.0	2.0
	製造業	67.0	29.5	37.5	22.7	8.0	1.1	1.1
	非製造業	64.1	30.8	33.3	9.0	20.5	3.8	2.6
光熱費	全産業	43.9	23.2	20.7	24.4	22.0	7.9	1.8
	大企業	46.0	27.0	19.0	22.2	27.0	4.8	0.0
	中小企業	42.6	20.8	21.8	25.7	18.8	9.9	3.0
	製造業	48.3	25.9	22.4	29.4	15.3	4.7	2.4
	非製造業	39.3	20.3	19.0	19.0	29.1	11.4	1.3
輸送費	全産業	48.1	21.2	26.9	20.5	22.4	6.4	2.6
	大企業	41.4	22.4	19.0	20.7	29.3	8.6	0.0
	中小企業	52.0	20.4	31.6	20.4	18.4	5.1	4.1
	製造業	51.8	24.7	27.1	25.9	18.8	1.2	2.4
	非製造業	43.7	16.9	26.8	14.1	26.8	12.7	2.8
人件費	全産業	40.2	19.2	21.0	24.6	22.8	6.6	6.0
	大企業	40.0	26.2	13.8	23.1	26.2	10.8	0.0
	中小企業	40.2	14.7	25.5	25.5	20.6	3.9	9.8
	製造業	44.8	17.2	27.6	29.9	14.9	2.3	8.0
	非製造業	35.1	21.3	13.8	18.8	31.3	11.3	3.8

(3) (1) にて「増加」と回答された方にお伺いします。  
 コストの増加基調はどの程度の期間続くとお考えですか。

コストの増加基調が続くとみる期間は、いずれの費目も「3年以上」が最も多く、全体的に長期化するとの見方が増えている。

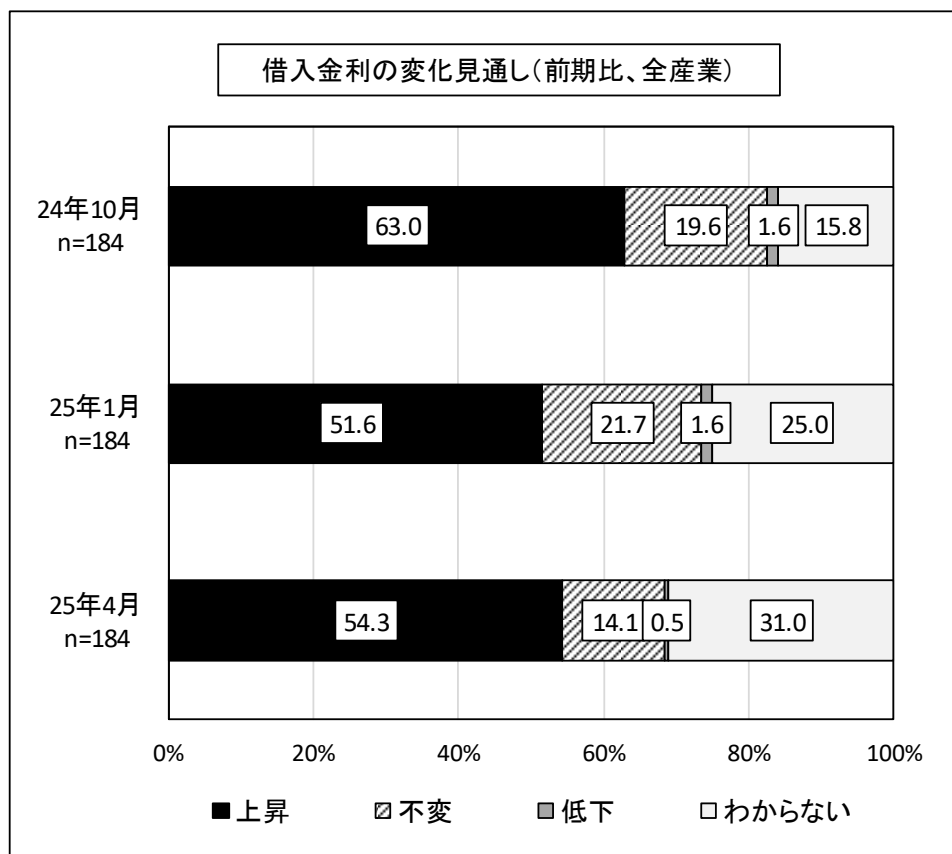


( ) 内は 23 年 4 ~ 6 月 調査実績、単位 : %

### 3. 金利の変化見通しと業績への影響

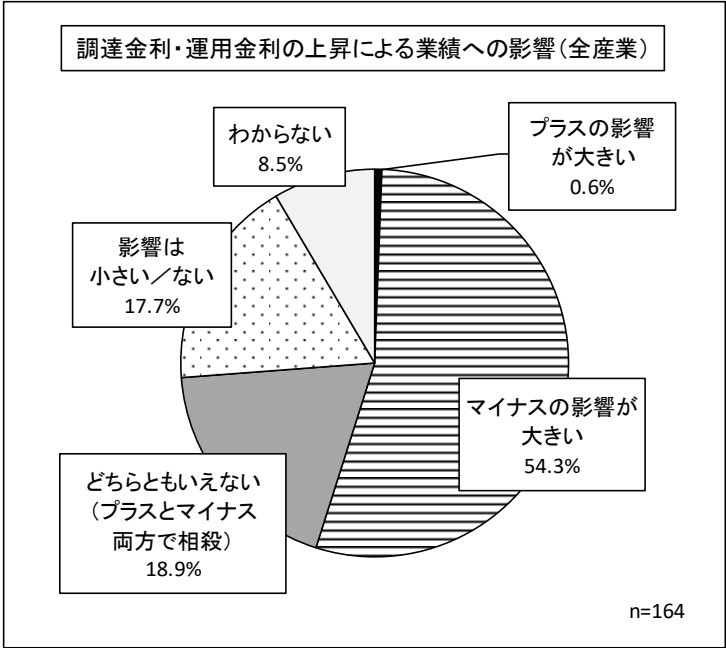
(1) 民間企業の借入金利は、今後どのように変化すると予想していますか。

25年4月までの3か月ごとの借入金利の変化見通しは、いずれの時点においても「上昇する」とみる先が過半数を超えた。



(2) 調達金利・運用金利が上昇した場合、貴社の業績にどのような影響を及ぼしますか。

調達金利・運用金利の上昇による影響は、「マイナスの影響が大きい」(54.3%)とする先が最も多かった。一方、「どちらともいえない」(18.9%)、「影響は小さい／ない」(17.7%)、「プラスの影響が大きい」(0.6%)とする先が合計4割弱にのぼるなど、企業によるバラツキがみられた。



セグメント別にみると、「マイナスの影響が大きい」とする先は、製造業中小企業で最も多く、6割(60.3%)にのぼった。

【セグメント別】

調達金利・運用金利の上昇による業績への影響 (単位:%)

	プラスの影響が大きい	マイナスの影響が大きい	どちらともいえない (プラスとマイナス両方で相殺)	影響は小さい／ない	わからない
全産業	0.6	54.3	18.9	17.7	8.5
製造業	1.1	57.5	19.5	12.6	9.2
大企業	5.3	47.4	31.6	10.5	5.3
中小企業	0.0	60.3	16.2	13.2	10.3
非製造業	0.0	50.6	18.2	23.4	7.8
大企業	0.0	52.6	15.8	26.3	5.3
中小企業	0.0	48.7	20.5	20.5	10.3

以上